

平和行動 in 根室に参加して

2017年9月8日～11日、連合近畿地方ブロック連絡会から平和行動 in 根室に参加させていただきました。9日に根室に入り、北方四島交流センター ニホロにて開催された北方四島学習会に参加しました。初めに実話を元に製作された映画『ジョバンニの島』を鑑賞しました。その後、学習会として返還運動関係者セミナーが4つの会場でそれぞれ違う内容で行われ、私はパネルディスカッション「日ロ共同経済活動の展望について」というセミナーに参加しました。NHK解説主任の石川一洋さんからは、日ロ共同経済活動の基本的な考え方や具体的な活動内容についてなど説明がありました。続いて、石垣雅敏根室副市長からは平和条約に繋げる為、日ロ共同経済活動を取り組んでいく、墓参、四島交流、自由訪問につづき、この活動が4つ目の風穴と考えている、そのためには、航路をつくる必要がある。と地元自治体としての話がありました。歯舞漁業協同組合専務理事の伊藤康彦さんからは漁業分野における、日ロ共同経済活動の取り組みに対して全面的に協力していく事、これまで貝殻島の昆布漁やサケ・マス漁についてなど多くの漁業協定を結んできたことなどの話がありました。浜屋健司根室地区連合会会長からは、地元労働界の取り組みとして、これからも北方領土問題に対するイベント、集会へ組合員の積極的な参加を行っていくということでした。最後に全体的なまとめとして、石川さんから北方領土は日本固有の領土であると言い続けることが大事である。継続活動をしていくため、この問題に隣接している地域に人が増え、経済が発展することも必要である。と話がありました。

10日には納沙布岬・望郷の岬公園で開催された「2017平和ノサップ集会」に参加しました。北方領土問題啓発モニュメントである四島（しま）のかけはしと祈りの火、その後ろには小雨ながら薄らと北方領土が望めるロケーションの中、1000人を超える参加者がありました。主催者挨拶として神津連合会長の話から始まり、連合北海道会長、各来賓の方々、元島民の方の訴えなどあり、平和メッセージ、ピースリレー、集会アピール採択が行われ、最後にかんばろう三唱で閉会しました。

今回平和行動に参加させていただき、北方領土問題を再認識しました。納沙布の地に立ち、島の近さ、距離感を肌で感じ、また各地元の方々の話、元島民の方の訴え、資料館での展示、説明などを受け、本当に近くて、遠い島であると感じました。改めて、連合で継続して行っているこの平和活動の取り組みの重要性を感じることもできました。

大四地区協議会  
中北製作所労組 市山裕一

平和行動 in 根室に参加して

9/8～9/11 で北方領土返還活動に参加して来ました

9/8,11 はほぼ移動日で、9/9～10 が本来の活動日でした

私達は、連合近畿として活動いたしました

9/9 は、北方四島学習会をニホロの北海道立北方四島交流センターにて実施

映画「ジョバンニの島」を鑑賞後、返還運動関係者セミナーが実施され、私はパネルディスカッション「日ロ協同経済活動の展望について」に参加しました

ここでの多くは、北方四島変換が大きな目標ではあるが、根室漁港、花咲漁港を中心として、漁業活動と人間同士の交流が大切だと考えていることでした

今まで、北方領土に関する日本（地域）の考え方は全島一括変換だとばかり思っていましたので、正直なところ柔軟な考え方だなど思いました

9/10 は、納沙布岬にて「2017 平和ノサップ集会」が 1,700 名超えで行われました。雨の中での外での集会は大変でしたが、集会をすることが大事なのだと思いました。根室に住人は少なく、また観光者も少ないと言う。北方四島と人の交流が出来れば、人が動き、船が動き、宿泊施設が出来、経済が発展する。経済的に成り立てば、人が住み、町が復活する。早急な解決策を政治的にしていただきたい。私たちが選挙で候補者を推薦し応援するのは、そのような活動をして頂きたいからなのです。

連合も沖縄、長崎、広島、根室と忙しいでしょうが、もっと頻繁に地域の活動をしていくべきではないだろうか、と思いました。根室では宿泊施設が無くなってきている現状が有ります。一度に多くの人が集まる事より、小規模で良いから数多く行う方が、町のためなのではないかと考えました。

また、機会が有れば、是非違う人に行って頂きたいとも思いました。私のように、北方領土は他人事と思っている人は多いのではないのでしょうか。参加することに意義が有ると感じました。視野が広がる集会でした。

連合近畿の皆様、お世話になりました 有難うございました

大四地区協議会

象印マホービン労働組合 秋山悦子